

お茶会だより 4月号

R5.4.25(4)

どう組になつて楽しみにしていたニセの「一つにお茶会」があります。

今度は「イ美」たち、和「エ」たちの番とお茶会をババアにしていただき、その後も
期待感と緊張感、いっぱい参加した第一回目となりました。

お茶の先生

茶道裏千家淡交會 華敬校

植田 華子先生 (菊名~宗華)

一年間 子ども達を指導以下に示す。

お床拜見で植田先生のお話を聞き、静寂の中でお点前拜見。

初めて見る本物のお道具、季節の花、そして植田先生のお点前。どれも達の表情もがらと変わり、一つ一つの動作を真剣な眼差しで見入っていました。

お稽古では、前日に園長先生から教えていただいたことを思い出したばかり
立ち振る舞い、作法を学んだり、水屋を初体験しました。お菓子といまだに
周りへの気づかいの「お先に」、お茶を立ててくれた人への感謝の気持ちの「ありがとう」「ごめいす」
「お願いします」の挨拶。普段の生活の中でもとても大切なことだと思いやりを持って、
感謝の気持ちを忘れずに身についているようでした。また、長い時間の
正座も子どもにとって大変なことではありますが、苦草がけながらも最後まで
頑張ってくれました。

私も連中は「華しかたに」「足が痛かたに」「元張かたに」「抹茶が苦かたに」など
色々な感想が聞かれた。植田先生からは「ニホら一わつ免強していきなさい。」
と言葉をいだし、ニホら一年間、(ほい)緊張感の中で茶道を通して
「感謝の心、思いやりの心、我慢する心」を育んでいきたいと思ひます。

【今月の床の間】



《茶花》「ハナスオウ・ニリンソウ」



《掛け軸》「にこにこ にっこり ごあいさつ」
 どんな人も挨拶されると、声を掛けられた人は勿論、声を
 掛けた人も周りの人も嬉しくなるもの。
 これからのお茶のお稽古も、「笑顔の挨拶が大切。」との思
 いがこめられた掛け軸です。

《お菓子》バウムクーヘン



《植田先生手作りの香合》
 「さくら」

【お茶会の様子】

初めて見るお点前。植田先生の美しい動き、
 一つ一つに見入っていました。



お菓子をどうぞ！

美味しく
出来たかなあ。

お先に。

どうぞ。

しっかり
手を添えて！

来月のお稽古まで日常生活の中でも姿
 勢に気を付けながら過ごしていきたい
 と思います。また植田先生にお会いでき
 るのが楽しみです。